

1 平成29年度に実施した自校の学力調査結果(単位:%)

教科	観 点	墨田区学習状況調査結果						全国学力・学習状況調査	
		第1学年		第2学年		第3学年		3年A	3年B
		目標値	本校平均正答率 全国平均正答率	目標値	本校平均正答率 全国平均正答率	目標値	本校平均正答率 全国平均正答率	本校平均正答率	全国平均正答率
国語	国語への 関心・意欲・態度	66.7	74.3 71.5	65.6	71.2 64.1	67.2	76.3 70.6		60.3 55.9
	話す・聞く能力	67.7	74.8 71.9	61.1	61.1 61.2	72.5	72.1 70.5	79.0 75.4	66.1 72.4
	書く能力	60.4	69.3 65.7	66.3	77.6 65.7	61.8	77.1 70.2	85.3 85.7	63.9 60.8
	読む能力	65.3	74.5 70.0	59.0	68.2 64.6	62.4	74.1 70.6	75.1 73.8	74.2 72.1
	言語についての 知識・理解・技能	72.6	77.2 78.4	74.4	74.3 78.7	72.6	78.1 76.2	75.5 77.2	44.4 41.4
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度	55.7	54.1 57.8	52.3	44.7 51.3	51.3	58.7 52.5		
	社会的な 思考・判断・表現	56.1	54.2 58.2	48.0	42.1 45.4	49.0	55.5 47.2		
	資料活用の技能	62.0	59.8 62.8	55.7	50.3 54.9	57.1	62.8 55.9		
	社会的事象についての 知識・理解	60.0	52.5 57.9	56.4	48.0 54.4	59.4	66.1 59.4		
数学	数学への 関心・意欲・態度	58.2	64.3 59.9	51.7	51.3 51.8	52.0	54.8 53.5		
	数学的な見方や考え方	59.2	65.1 59.6	49.2	50.9 49.4	54.5	56.3 55.4		33.2 36.8
	数学的な技能	71.5	78.2 73.8	62.1	62.1 61.7	62.2	69.2 63.0	65.5 68.2	53.4 61.2
	数量や図形など についての知識・理解	58.2	62.3 59.6	53.1	52.5 53.7	59.3	67.4 60.0	57.2 60.2	77.0 85.1
理科	自然事象への 関心・意欲・態度	57.3	56.2 60.0	49.4	38.6 46.7	58.0	53.7 60.3		
	科学的な 思考・表現	58.9	59.6 62.7	50.2	40.6 47.9	51.5	52.0 53.5		
	観察・実験の技能	74.2	77.6 78.4	61.4	50.5 60.5	64.4	45.6 61.5		
	自然事象について の知識・理解	57.0	52.1 56.6	59.1	46.7 58.0	60.3	58.7 62.8		
英語	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度			65.0	67.9 67.6	63.3	65.0 64.8		
	外国語表現の能力			53.8	51.6 54.4	49.1	45.1 47.9		
	外国語理解の能力			61.4	62.4 61.0	68.3	77.0 72.8		
	言語や文化についての 知識・理解			62.9	58.7 62.4	65.4	71.4 69.6		

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合を示したもの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。  
2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答(部分点)については、正答数を0.5として換算している。

2 自校における調査結果の分析

<p>◇よい点 墨田区学習状況調査では、第3学年は国語、社会、数学が目標値、全国平均を上回っている。とくに、社会は昨年度と比べ各観点5ポイント以上高くなっている。また、理科は目標値、全国平均を下回っているが、昨年度と比べ目標値に近づいている。第2学年は昨年度の国語の観点「書く能力」が平均を下回っていたが、今回は10ポイント以上高くなっている。第1学年は数学が目標値が全国平均を上回っている。</p> <p>◆課題 墨田区学習状況調査では、全学年理科に課題がある。とくに、第2学年の観点「関心・意欲・態度」が8.1ポイント低い。また、英語の観点「外国語表現の能力」が目標値・全国平均を2～3ポイント下回っている。</p> <p>◎改善の方向性 「理科」実験・観察を通して考察やまとめの時間を十分に確保し、考える力や結果から分析する力を養う。既習事項の確認テストや問題演習を繰り返し実施し、基礎の定着を図る。また、家庭でのeライブラリーの活用を推進する。 「英語」語彙力を伸ばすための小テストを定期的に行い、英作文の練習を増やす。 全国学力調査の数学において、計算問題を速く正確に解く力に課題がある。今後、演習を増やしていく必要がある。</p>
---